

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	11 -	事業名	契約検査事業	担当部課	総務部行政課
------	------	-----	--------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	合理的で効果的な行政運営を行う	款	2	総務費
		施策の進め方	2	公正・透明な行政運営の確立	項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	一般管理費
		政策分類	-		大事業	5	契約検査事業
	その他(関係法令、要綱等)		地方自治法、長久手市契約規則、長久手市契約事務要綱				
事業開始の背景、経緯等		契約事務の執行が、本市の契約規則及び契約事務要綱の規定に基づき適切に行われているか検査することにより、公正・透明な行政運営の確立を目指す。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・本市が契約を締結する建設工事、業務委託、物品等の競争入札あるいは契約手続に関する検査業務を行う。 ・あいち電子調達共同システムを活用し、電子入札事務手続を一元化して行う。 ・備品の管理業務を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 職員、入札参加者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 契約事務手続を公正かつ透明に実施していくために必要な規則等の解釈を全庁的に共有し、職員のスキルを向上させる。					
	事業を構成する事務事業	① 契約検査事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	/	3,352 5,319	6,586 6,000	6,624 4,114
	人件費(B)	千円	決算	/	970	15,582	17,801	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	6,289	21,582	21,915	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	指名審査会等の審査案件数	件	目標	/	171	171	149
実績				/	171	149	157	
B	電子入札件数	件	目標	/	165	182	154	170
			実績	/	182	154	170	
C			目標 実績	/				

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 一般競争入札に係る入札参加資格及び指名競争入札に係る指名業者選定について、入札参加資格委員会及び入札参加者指名審査会に諮ることで、公平公正な契約事務を行うことができる。

B 工事・設計測量等業務、物品及び役務の提供等委託業務について、あいち共同調達システムによる電子入札を実施することにより、契約事務の公平性と透明性を確保できることに加え、事務の簡素化を図ることができる。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県下検査事務連絡協議会において、工事成績の採点基準を愛知県内で統一し、相互利用できるようにならないか検討している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ほぼ全ての部署で契約事務が行われ、適正に入札業務を遂行している。 (入札案件により紙による応札があるため、審査件数と電子入札件数は、一致しない)
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) ほぼ全ての部署で契約事務は行われているが、各部署にその手続が適正か判断できる職員がいない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・国、県等の制度改正を市に取り入れることで、契約事務における適正さを高める。 ・職員が起案する契約事務文書を確認、指導することで、契約事務手続方法を職員に周知する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成35年までに、契約関係書類の単純な間違いを、ほぼ0%まで減らす。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		契約検査事業										
番号	①	事務事業名	契約検査事業		款	2	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が行う契約事務について、地方自治法、長久手市契約規則、長久手市契約事務要綱等に基づき適切に執行されているかを確認している。</li> <li>職員が行う契約事務のうち、一定額以上の競争入札について、電子入札事務を一元化して実施している。</li> </ul>
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市が行う契約事務の透明性・公平性を確立したい。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		3,352 5,319	6,586 6,000	6,624 4,114	5,990
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① あいち電子自治体推進協議会負担金						2,800	千円
② 競り下げシステム運営業務委託						980	千円
③ 公共建築工事積算単価データ利用料						227	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
指名審査会等の審査案件数	件	目標		171	171	149	157
		実績		171	149	157	
電子入札件数	件	目標		165	182	154	170
		実績		182	154	170	

＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞

- 指名競争入札の参加者の審査を142件、一般競争入札参加資格の審査を15件実施した。
- あいち電子調達共同システムを活用した電子入札について、工事及び設計測量等業務委託を78件、物品及び役務の提供等委託業務を92件実施した。

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

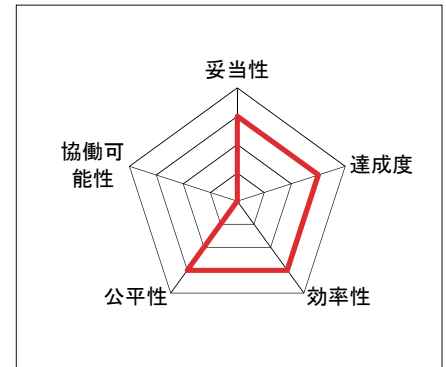
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
県下検査事務連絡協議会において、工事成績の採点基準を愛知県内で統一し、相互利用できるようならないか検討している。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
-

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)  
 文書の削減、契約事務手続に要する時間の短縮等を目的に、指名（見積）通知の伺い及び監督員の任命の伺いについて、他の様式に統合する変更を行った（H30.4.1以降の様式）。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)  
 契約事務の制度について、職員に周知が徹底できていない。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
 工事や委託を定期的に発注している部署の職員は、契約事務の制度に対する理解度が高いが、年度当初にしか契約事務を行わない部署の職員や入庁して数年しか経過していない職員は、理解できていない事が多い。  
 翌年度の制度改正の説明以外の時期に、希望者に対して説明会を開催することで、職員に対する周知を図る。